

かわオナ

若者から繋ぐ伝統文化 ～中島・藤蔵 秋祭り～

- サンハイム三反田 改築スタート… P2
- 財政は健全 …… P4
- 公共交通の充実を… P6
- 6人が町政を問う …… P8
- 議会改革 すすめています！ … P14



補正予算



概要

- 鉄筋コンクリート3階建て(西棟は2階建て)
- 駐車台数:85台(1世帯2台、来客用9台)
- 部屋数:38戸(2LDK 30戸、3LDK 8戸)
- 集会室 西棟1階の南側に配置
- 家賃(案):2LDK:5万円/月、3LDK:6万円/月
- 西棟屋上は一時避難エリアとして利用可能

9月議会

令和5年 第6回(9月)
議会定例会
9月5日~14日(10日間)

提出議案等は19件
町長提出議案 … 18件
議員提出議案 …… 1件
すべて原案通り全員賛成で可決しました。

この中から主なものをピックアップして紹介します。

サンハイム三反田 改築スタート

改築事業費総額15億600万円のうち、地盤改良工事などの今年度事業費として、5千600万円を補正予算に計上し、残り14億5千万円を令和6年度の債務負担行為として設定します。

財源は、国庫補助金1／2、残りが町債となります。

Q 当初計画では駐車場部分に集会所を建設予定であったが、集会室に変更になった理由は

A 昨今の資材高騰により予算が膨らみ、事業費を抑える為、単価の見直しや一部内容を変更しました。

Q 集会室の広さと活用法は

A 2部屋分を合わせた約160m²で、サンハイム三反田入居者とけやきタウン住民が、使用できます。

Q 家賃の算定根拠は

A 近隣の賃貸住宅の家賃や当町のサンハイムの家賃等を参考に算定しました。

補正予算

緑の健康広場改修に 追加補正

724万5千円

老朽化した役場横テニスコートを、緑の健康広場と一緒に全面天然芝広場に改修する工事に対し、テニスコートの廃材撤去費用等が追加発生した為の補正。改修工事の総額予算は1824万5千円となる。



役場横 テニスコート

Q どのように活用するのか。町民に

A 使ってもらえるようアピール方法やネーミングの検討も必要ではないか

A サンフイールド川北のサブグラウンドとして自由に使ってもらいたい。今後、さらに使ってもらえるよう検討します。

Q 管理はどうするのか

A 業者委託契約の中で管理します。

補正予算

高齢者の健康長寿に 医療専門職を配置

180万円

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」が令和6年度までに実施するところが地方自治体の義務となり、医療専門職が配置され、高齢者への「お達者ですか訪問」や「通いの場」での健康教育等が強化される。



通いの場

- A** お達者ですか訪問事業とは
過去1年間に検診、医療、介護の実績のない人に個別訪問して身体状況等を調査するものです。
- Q** 通いの場等への積極的関与について
の対象者は
- A** 全ての方が対象者です。重症化するかもしれない方も含め様々な場所の「通いの場」に出向き、様々な方に健康教育を実施します。

工事請負契約の締結

中島区排水処理施設増設工事

契約金額 7千590万円
契約相手 株式会社 北都組
工期 令和6年3月25日まで

既設処理場

今回増築箇所

職種	現行		改正後	
	副町長	町長	副町長	町長
教育長	59万円	65万円	83万円	78万円
			63万円	57万円

施行期日 令和5年10月1日

- A** 報酬等審議会の中で、県内自治体の状況や全国平均等の資料を参考に審議し、答申をいただきました。
- Q** 減額の数字の根拠や意味は

少子高齢化、自然災害、公共施設の老朽化など行政環境が厳しさを増す中、必要な財源の捻出が将来的な課題となることから、特別職の給料等に関する事項から、特別職報酬等審議会の答申に基づき、特別職の給料等に関する条例を一部改正しました。

条例改正

町長給与5万円減 副町長、教育長は2万円

10月議会臨時会
19日

○工事請負契約の締結

事業名 川北町立小中学校電子黒板購入事業
契約金額 3千619万円
契約相手 株式会社 丸菱

7月議会臨時会
24日

○財産の購入契約

事業名 川北町立小中学校電子黒板購入事業
契約金額 3千619万円
契約相手 株式会社 丸菱

内 容
電子黒板 62台

事業名 サンハイム三反田整備事業改築工事
契約金額 14億3千330万円
契約相手 株式会社 真柄建設

人 事

監査委員に村田氏を再任

村田 信広 氏
(三反田)

意 見 書

学校給食の無償化制度の構築を求める意見書

概要 国内全ての学校で無償化を実現するには、国の関与が必須である。国が主体となつて必要な制度を構築するよう、強く要望する。

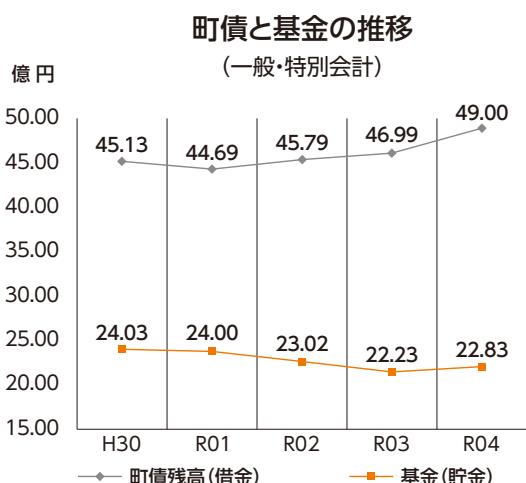
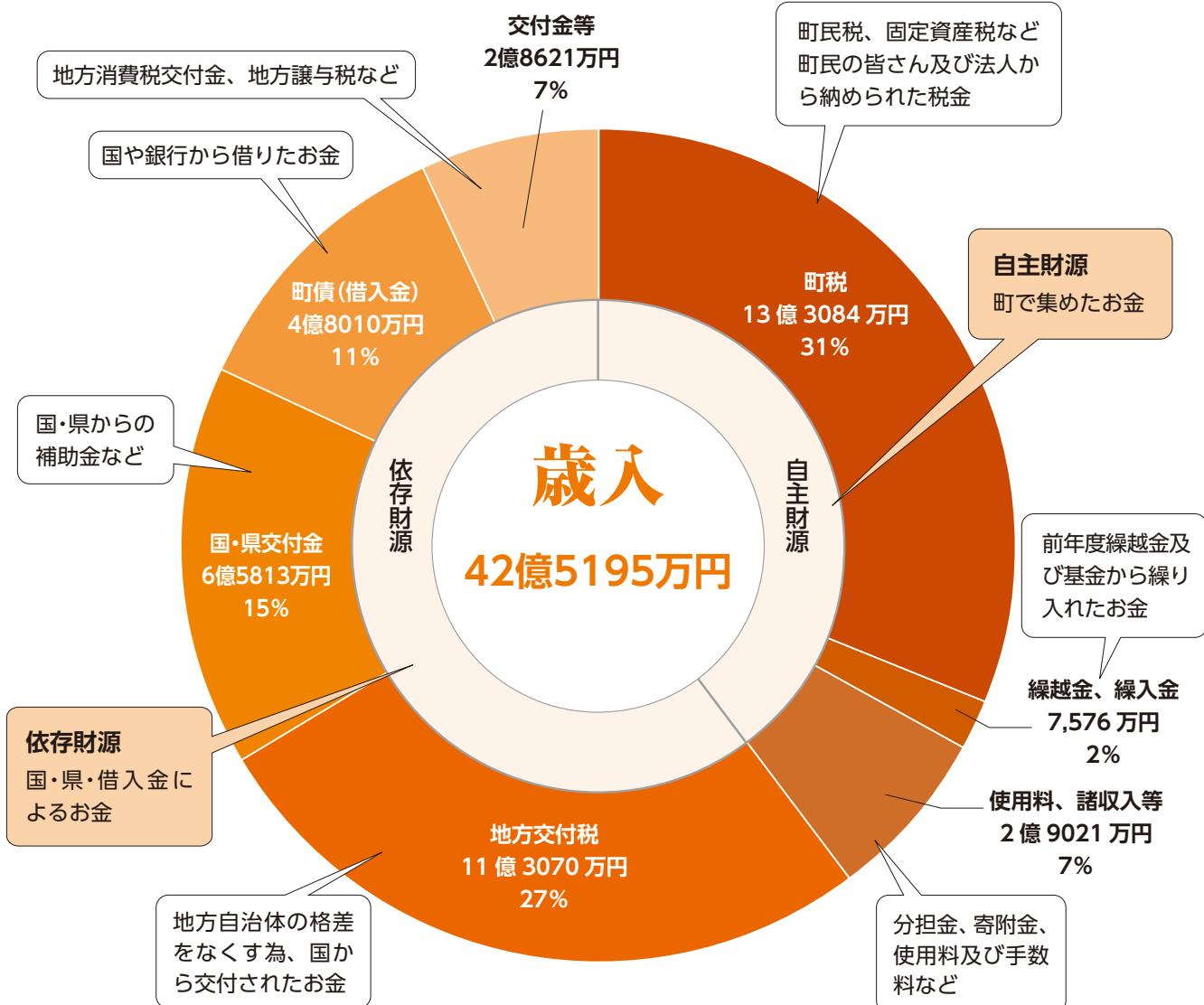
この意見書は国に提出されました。

議会用語解説

意見書 地方公共団体の公益にかかる事柄に関して、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政に提出できるもの。

財政は健全

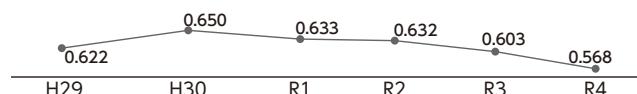
決算認定



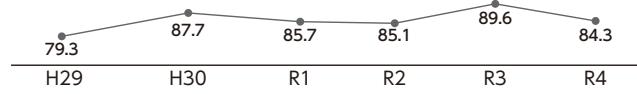
多目的運動公園(仮称)整備事業及び木呂場・木呂場新町地区簡易水道施設更新事業に合わせて約3.6億円の起債がされ、町債残高(借金)は前年より約2億円増加した。

町財政を見る3つのポイント

1 財政力指数 0.568【前年度比0.035低下】
町の必要経費の内、どれくらいを自前の税収で賄えているのかを表す。この数値が高いほど財政力が強い。



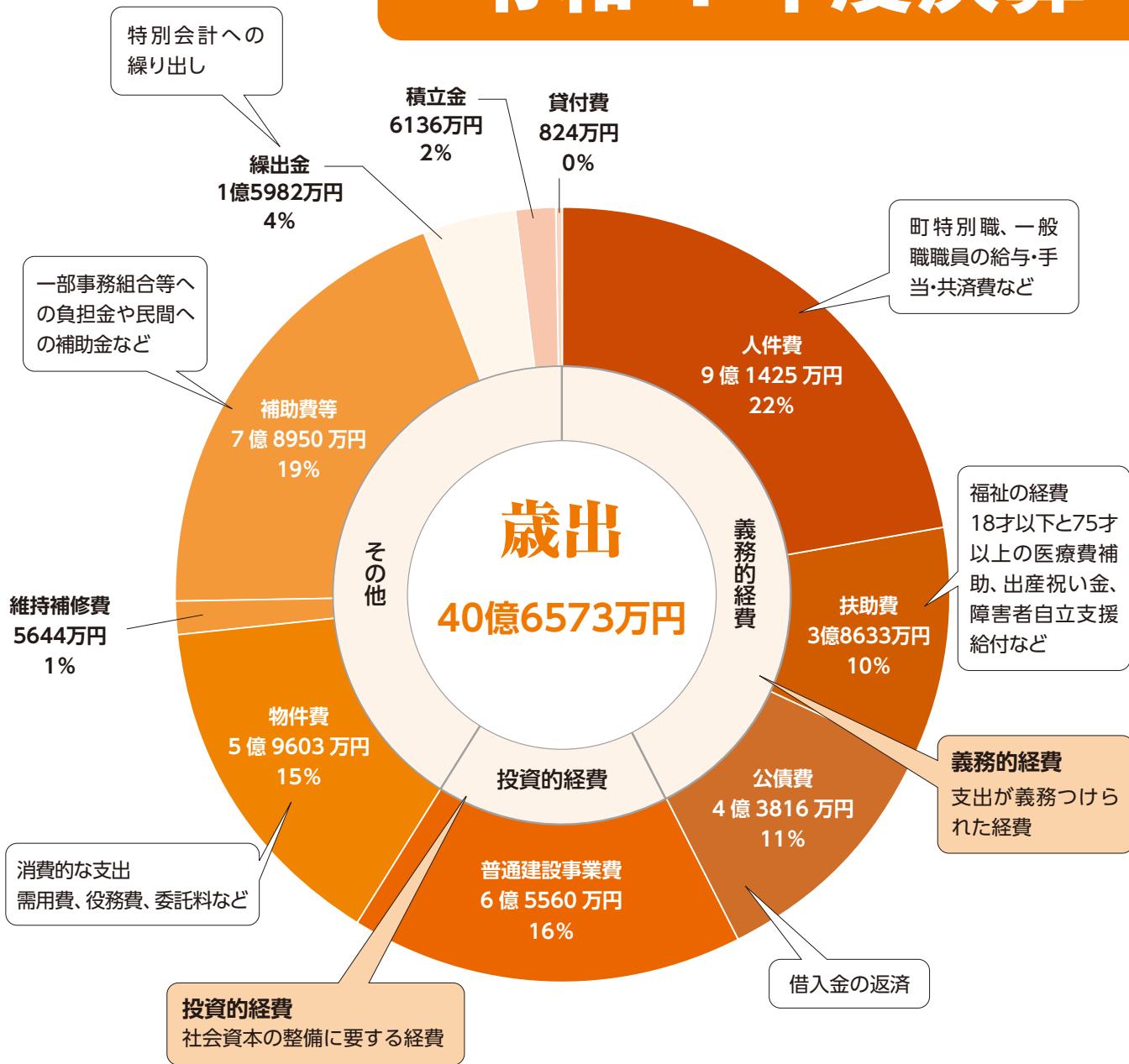
2 経常収支比率 84.3%【前年度比5.3%向上】
経常的経費が一般財源に占める割合で、低いほど弾力性がある。



3 実質公債費比率 8.0%【前年度比1.0%向上】
収入に対する借金返済費用の割合。高いほどほかの事業に充てる財源を圧迫することになる。



令和4年度決算



NEXT
議員はココを問う！

特別会計 (単位:千円)

会計区分	国民健康保険	簡易水道事業	農業集落排水事業	介護保険事業	介護サービス会計	後期高齢者医療
歳入(A)	564,892	164,817	107,875	489,301	58,951	71,076
うち一般会計繰入金	24,231	1,309	18,990	75,000	26,000	14,286
うち基金取崩額	—	—	—	—	—	—
うち町債	—	128,300	26,900	—	—	—
歳出(B)	549,845	162,551	103,777	478,542	56,687	70,066
差引(A-B)	15,047	2,266	4,098	10,759	2,264	1,010

企業会計 (単位:千円)

工業用水道事業	
収益的収入	38,326
収益的支出	36,017
経常利益	2,309
資本的収入	0
資本的支出	112,968

※資本的支出は、留保資金などで補填

議員は「」を問う

自主防災組織の促進・強化

予算決算特別委員会審議で各委員からの質疑や提言を要約してお知らせします。

ふるさと納税

Q 納税返礼品としての空き家管理について、その詳細は。

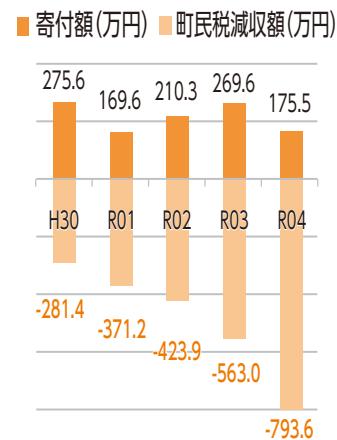
A 北陸電力送配電株が、空き家の外観確認等の調査を行ない、寄附者に報告するものです。

Q ふるさと納税寄附金について、令和4年度の実績は。

A 95件、175万5千円です。

Q 他の自治体へのふるさと納税により、川北町の町民税減収分は。

A 町民税では293名、税額で793万6千円の減であり、交付税でその減収分の75%が補填されます。



移住支援事業の活用促進を

Q 県と共同の事業で移住支援金支給事業の活用が無かつた理由は。

A 移住対象者の条件が、東京23区内5年以上在住又は、通勤していた方となつており、該当する人がない以為です。

川北まつり助成金の内訳は

Q 従来は花火があつて3千500万円くらい、令和4年度は花火がキャンセルで3千150万円だつた。その内訳は。

A 開催前日に花火大会の中止が決定されたため、キャンセル費用（花火製作・会場準備・花火解体等）が発生し北國新聞社と経費を折半して支出しています。（花火代で1千730万円）



橋区 自主防災訓練

運転免許証返納支援

Q 運転免許証返納について、実績と返納後の町からのフォローアップに繋がる施策は。

A 國の負担が50%、県と町の負担が25%となつています。

地籍調査の促進を

Q 地籍調査業務委託料について、國、県、町の費用の負担割合は。

A 令和5年7月の農業委員改選後から、操作説明も含めた研修会を実施して活用します。

Q 自主防災組織活動育成事業補助金について、組織率は19／21地区で、補助金を活用した地区がわずか7地区のこと。組織率を高め、もっと多くの地区でこの補助金が活用されるように支援すべきでは。

A コロナ禍の影響もあり、打合せはされていると思いますが、避難訓練等が出来なかつた状況であつたと捉えています。

Q 公共交通機関の利用人数が771名増加したという理由は。

A 一般路線バスの四十万線の川北温泉延伸分が、771名分が増加したもので、最終が令和4年度から午後8時着と早くなつたことが増加の一因と考えています。

A 返納申請件数は、令和3年度で18件、令和4年度ですと19件です。利用状況等の実態を調査します。

公共交通の充実を

Q 地籍調査の計画では、完了まで、まだ40年余りかかるとのことだが、もっと早く完了できないものか。

A 地籍調査の全体計画はあるものの、国の予算がつかない事もありまし、宅地の境界を決めるには、時間がかかります。



地籍調査

Q 管路の耐震化状況は。

A 木呂場地区より水道管路の耐震化工事を行つて行きます。

Q 古い管路から順番に改修することになつていて、財源は、町債（借金）しかないのか。

A 財源については、現時点では補助金がないのと水道料金値上げだけでは、工事費は賄えないでの、現在は町債で対応しています。

Q 水道と下水の基金と公債残高は。

A 簡易水道事業は、基金の現在高が5千408万1千円、地方債の現在高が、2億9千240万円です。農業集落排水事業は、基金の現在高が6千109万7千円、地方債の現在高が、2億2千271万円です。



中島保育所

保育の完全無償化は

Q 保育所費約3億3千800万円の財源について、①0～2歳児までの保育料約1千500万円、

②国からの収入、③一般財源で賄われていると思うが、その内訳は。

A 保育料の内訳は、0～2歳までの保育料と第3子以降の保育料無償分を除いた額になります。保育所運営費の国からの収入に関しては、交付税算入されていることもあり、明確な金額は、お答えできません。

Q もし川北町で0～2歳児までの保育料を無償化した場合には、どれほどの負担が増えるのか。

A 初は、T2（先生とその補助）の形で入つていただき、現在は、先生方が指導するにあたり、学校での利活用の仕方等を提案いただいている。

Q ICT活動支援事業委託料について、具体的な内容は。

A ベネッセコーポレーションにより、各学校に月2回入つてGIG Aスクールに関する助言・補助をいただいています。



わくわくチャレンジ教室

学校施設長寿命化計画

Q 学校施設長寿命化計画に基づく基本計画を作成されたが、実際はどういうものなのか、役に立つものなのか。

A 応急処置を繰り返すよりも支障が出る前に修繕する方法で長寿命化が図れるといった内容のものであります。

A 1千500万円ほどの負担増となります。また、第2子以降の保育料を無償化すると650万円ほどの負担が増えることになります。

小中学校ICT活動支援事業

町政を問う!

9月議会定例会
一般質問



問 老人クラブをシニアクラブへ
答 福祉課長 町が考えることではない



山村秀俊 議員

となつており、現在のところ、新たに図書館を建設する構想はありません。

現図書館のバリアフリー対応については、今後、引き続き検討します。



この階段を上がらないと図書館へは行けない

は60歳以上となつていて、65歳以上の方が就労している社会構造を見ると、老人の名称に抵抗を感じるところがあるようですが、任意の団体であることから、町が名称や加入年齢について考えることではありません。

Q 現在、老人クラブへの加入年齢が、60歳からとなつていているが、現状は65歳まで働くことが主流になつていている。又、老人クラブの「老人」という言葉に、抵抗を持つ人もいる。

そこで、段階的に、対象年齢を65歳以上に引上げ、

老人クラブの名称をシニアクラブに変更してはどうか。



趣味を楽しむシニア世代

問 バリアフリーの新図書館を

答 教育課長 新図書館建設の構想はない

Q 現在の図書館は、健常者が対象の施設になつている。

これからは、バリアフリーで駐車場から玄関までの距離が近く、平坦な道であること等、誰もが気軽に入れる図書館が、求められている。

新図書館の必要性について、町当局の考えは。

A 町立図書館は、ふれあい健康センター2階に設置され、町民が集まりやすい場所

Q 現在、町内に老人クラブは17団体で、内、8団体は老人会、9団体については独自の名称となっています。

また、県内では、17市町が老人クラブ連合会で、2町のみシニアクラブ連合会の名称になつている他、国、県においても、老人クラブ連合会を名称とし、いざれも加入年齢



問 スマート農業の必要施策は

答 町長 支援策を検討する



林 幸雄 議員

Q 国が施策として進めておりますスマート農業とは、農業経営者の高齢化が進み、農業労働力不足を補うため、ロボット技術やICT（情報通信技術）を活用し、超省力化・高品質生産を実現する新たな農業を指しております。

川北町の農業の安定的継続の為、今後、町としてスマート農業機械等について助成等必要施策を考えて頂きたいと思いますが、町当局の考えは。

町としては、今後、誰もが取り組みやすい農業経営を行うため、農業経営者のご意見も伺いながら、支援策を検討していきます。

参考

ロボットトラクタ

川北町では、農業経営者の高齢化や後継者不足、そして、経営の効率化を図るため、担い手農家や農業法人への農地集積・規模拡大が進んでいます。議員ご指摘のように、近年、ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現するスマート農業への取り組みが、国を挙げて進められています。しかしながら、スマート農業の導入コストは高額であり、小規模な農家では導入しても、その効果に見合わない」とやスマート農業技術を農業経営に活かせる人材不足など大きな課題もあります。



A

川北町では、農業経営者の高齢化や後継者不足、そして、経営の効率化を図るため、担い手農家や農業法人への農地集積・規模拡大が進んでいます。議員ご指摘のように、近年、ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現するスマート農業への取り組みが、国を挙げて進められています。しかしながら、スマート農業の導入コストは高額であり、小規模な農家では導入しても、その効果に見合わない」とやスマート農業技術を農業経営に活かせる人材不足など大きな課題もあります。

答

危険運転防止策は

参考

30
区端 さから
キッズ ゾーン
やさしい運転を

Q 近年、各集落周りに住宅が造成され、小さな子供も増えており、大変、喜ばしいことだと思いますが、集落周辺の交差点においては、通勤者が信号を避けて集落内や狭い農道を疾走するのをよく見かけます。これらは危険運転ともいえる運転マナーに欠ける行為であり、事故がいつ発生してもおかしくない状況です。万全を期して町として管内の企業に対しても注意喚起を行つて頂けないでしょうか。町当局の考えは。

A

町では、カーブミラーなど

の交通安全施設の整備のほか、通学路のカラーブラックやラバーポール、フッションドラム設置による、集落内での車の減速対策を取り組んでいます。今後、交通安全協会や安全運転管理者協議会など、関係団体の皆様とも連携を図り、町民や町内事業所に勤務している方々に対し、防災行政無線や広報、チラシ、SNSなど様々な媒体を活用しながら、注意喚起と周知に努め、安全・安心なまちづくりを進めます。

町政を問う！



問 国際交流の成果と今後は

答 副町長 毎年 夏の派遣を継続したい

○ニュージーランドではどこにいても英語に触れているので、英語が自然と口から出てくるようになつたことすべてが日本と大きく異なるニュージーランドで受けた刺激は、世界的な視野を広げ、大きく成長したこと

A

○二年間で、この国際交流を今後どのように発展させることができるのか。

また、せつかくのご縁で

つながりを持ったこの国際

交流でどのような成果があつたのかを

お聞きしたいと思います。

Q 今回の国際交流を終えて、参加した生徒にはどのような感想を持ったのか、また、この国際交流でどのような成果があつたのかを

お聞きしたいと思います。



山田勝裕 議員

○多くの未知の体験をしたことで、外に出る勇気や、乗り越える力が得られたことこの三つが今回の大きな成果のように感じています。

今後については、アワタプ・

カレッジと国際大学ーPUNIユージーランドから、来年以降の受入れも快く引き受け

ていただいたことで、今後も、毎年夏の派遣を継続したいと考えています。

毎年夏の派遣を継続したいと



ホストファミリーとアワタプカレッジにて

○二年間で、この国際交流を今後どのように発展させることができるのか。

Q 町の施策として川北町奨学金返済支援事業が創設されています。

この事業が、川北町への移住、定住促進の一つのきっかけになれば非常に有効な施策であると思いますが、他

市町での取組み状況はどう

なつかれています。

申請者11件の内訳を申しま

すと、町内企業勤務が2件、

残り9件が金沢市など町外企

業勤務で、年間の支援額は一

人当たり4万円から10万円と

いう状況です。

答 教育課長 10件の交付を決定

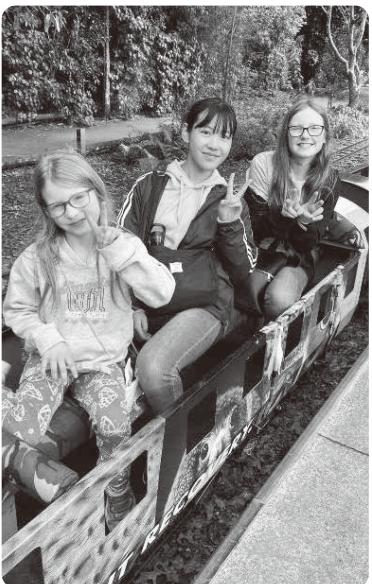
問 奨学金返済支援事業の進捗状況は

A 県内の他の市町での取り組み状況を調べたところ、内容や条件は異なるものの、12市

町で定住や人材確保に向けた事業を実施し、また川北町同様、今年度から取り組んだ自

治体もあります。

現在の状況ですが、新年度早々より問い合わせがあり、8月末時点で11件の申請を受け、内10件の交付決定をしています。



ホストファミリーとEsplanade公園にて

問 町モニュメントの設置は

答 土木課長 設置は考えていない



中村勝巳 議員

A 現在、本町に設置されていいるシンボルモニュメントは、3基設置され、高さは何れも12m。設置費は、1基あたり2千万円程度です。

Q 来春、3月16日に開業予定である金沢～敦賀間の北陸新幹線開通に合わせ、関西圏からの誘客等のアクセスの向上には、先ず、川北町の所在地を知っていた大切なことが重要である。

新幹線の車窓からの眺望性、そして県外車の車両交通量が圧倒的に多い、国道8号線沿い交差点付近に町のモニュメントを設置すれば、PR効果は高いと考えるが、町当局の考えは。



既存のモニュメント

そこで、国道8号線沿いに新幹線の車窓からも見えるよう、新たにモニュメントを設置してはとのお尋ねですが、このエリアはいしかわ景観総合条例に基づく、屋外広告物規制区域の第1種区域となっており、モニュメントも屋外広告物に該当し、高さ7m以下、面積15m²以内という制限を受けることになります。

したがって、同規模のモニュメント設置は出来ず、多額の工事費もかかることから、設置は考えてはおりません。

しかしながら、北陸新幹線県内全線開業等を控え、川北町のPRなど情報発信が、益々重要になりますので、今後とも、関係機関や団体とも連携を取り組みを進めます。

Q 8月の新聞記事において、川北町を始めいくつかの市町が地区防災計画の策定ゼロで、取り組みに濃淡有りと報道されていた。

地区防災計画の策定は、各区では自主防災マニュアル等の名称で策定されてい

るものと思っており、地域住民の安心・安全には欠かせない取り組みである。

そこで、策定対象の21地区の進捗状況の把握、また未実施地区においては、町側による早期の策定支援や指導を行っていくべきと思うが、町長の考えは。

A 現在、川北町には、19地区に自主防災組織が結成されており、そのうち13組織で防災マニュアルを作成しています。

作成されている防災マニュアルも、地区防災計画に相当するものであると認識しています。今後、各地区的状況把握に努め、国のガイドラインなど、計画作成に係る資料や事例などの情報提供や意見交換を、随時行うとともに、各地区を対象とした研修会も開催し、早期策定を支援したいと考えています。

また、組織が未結成の地区に、地区防災計画については、地区住民が自発的に行う防災活動の推進を図っていきます。

問 町行政による地区防災計画の策定支援は
答 町長 早期策定を支援したい



要介護者の避難

問 サンフィールド川北周辺道路の安全対策を

答 土木課長 関係機関と連携を図り整備を進める

A 安全対策として、交差点周辺にはカーブミラー、路面標示及びカラー舗装を設置し、園内には、8台の監視カメラも設置します。

防犯灯設置の必要性については、重々承知していますが、水稻の生育に影響が出ること

Q サンフィールド川北の周辺道路は、地域住民の生活通路や小・中学生の通学路にもなっており、万全の交通安全対策が、必要となっている。

また、夜間の防犯対策のための夜間照明施設の設置も必要であるが、町当局の考えは。

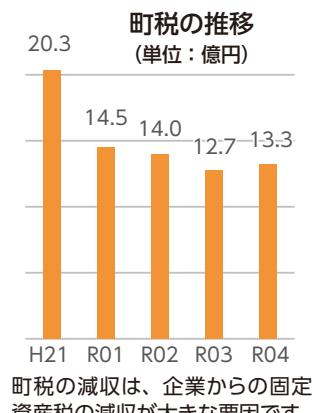


窪田 博 議員

も懸念されますので、沿道の地権者及び耕作者の方との合意形成を図ることが最優先であり、地元や関係機関と連携を図り、補助事業として国の採択を受けられるよう要望を重ね、整備を進めます。



防犯灯の設置が求められている



町税の減収は、企業からの固定資産税の減収が大きな要因です。

Q 近年の町税は、減少方向で、新たに進出した誘致企業からの税収入も楽観できない。

町財政が厳しさを増す中、学校給食費の無償化、サンフィールド川北の管理運営費等の他、将来の為の新たな施策に対する財源確保のためには、既存の町事業について、踏み込んだ見直しが必要でないか。

A 今後、本町行政を取り巻く環境が一段と厳しくなる状況にある中、公共施設の老朽化対策等の費用の捻出、持続可能なまちづくりのための新中、学校給食費の無償化、サンフィールド川北の管理運営費等の他、将来の為の新たな施策に対する財源確保のためには、既存の町事業について、踏み込んだ見直しが必要でないか。

引き続き、いきいき地域づくり事業や納期前納付報奨金制度など既存事業の見直しや受益者負担の適正化を進めていかなければならぬと考

ており、町民の皆さんにご負担をお願いしなければならないことでもあります。

そして、企業誘致による税収の増加など、歳入の確保にも、引き続き取り組んでいきます。

問 財政難、事業の見直しを

答 町長 既存事業の見直しを進める

問 行政におけるデジタル活用は

答 町長 優先的に取り組むべき内容を検討する



井波秀俊 議員

A 今年度、小中学校への電子黒板の導入のほか、勤怠管理システムや水道施設のクラウド型監視システム、税収納の電子化対応業務などの事業を予算化し取り組みを進めています。

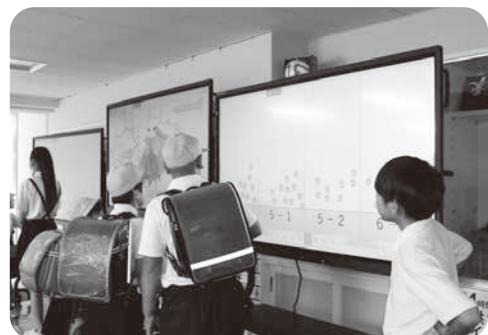
しかしながら、デジタル技術の導入には、導入経費やランニングコストに多額の経費が掛かることから、その効果などを勘案し、進めていかなければならぬと考えています。

現在、地域課題の解決や事

務の効率化へのデジタル技術の活用について、職員へのアンケートやヒアリングを実施し、地域課題の整理やデジタル技術活用の可能性について、専門家の支援を受けながら取り組みを進めています。

他の自治体における好事例や、導入・費用コスト、その効果、専門家からの具体的な提案などを参考に、県や他市町との連携のもと、町として優先的に取り組むべき内容を検討していきます。

Q 今後、行政運営・サービスにおいて、どのようにデジタル技術の活用をしていくつもりなのか。



川北小学校 玄関

Q 今後の我が町の行政における生成AIの活用について、行政としてどう活用していくのか？また、教育現場においての活用や児童生徒への指導や課題はどうなのか。

A 本町では、県が主催する生成AIのワークショップに職員が参加し、生成AIの基礎や活用方法について、理解を深めるとともに、自治体間で情報共有を図りながら、検討を進めています。

今後、業務の効率化、負担の軽減などの観点からも、利活用に向けて、さらに検討を深めていきたいと考えていますが、取り扱いのガイドライン作成や、職員に対する研修など、適切な利活用に向けた取り組みも、同時に進めていかなければならぬとも考えて

問 生成AIの活用は

答 総務課長 段階を追って検討する

います。

一方、教育現場での活用については、今の子どもたちは、生成AIとの共存が避けて通れない社会を生きていくことも事実です。

従いまして、今後の社会の動向を見定めながら、授業や校務支援での利活用を段階を追って検討していきます。



出席数で ボスをたおせ!

議会改革すすめています！

議会改革本年度重点策

1. ペーパーレスを進めます

議会運営でのデジタル活用に向けて、まずは議会資料等のペーパーレスを進めます。

2. みんなの声を聴きます

町民の声を行政に届けるべく、また、行政町議会の動きを伝えるため、各種団体、地区、町民との意見交換会を実施します。

3. 熱く議論します

各委員会で通常の議会提出議案以外の所管および町内、議会での課題などを洗いだし、議会内はもとより、行政を含めて議論の場をつくり、課題解決を実現します。

町議会では、如何に町民の声を行政に届けるか？如何に町民に行政の動きを分かり易くお伝えできるか？と、毎年検討し改善しています。本年度も可能な限り改革案を実施し、今後広報でも報告していければと思います。

議会改革推進委員長 井波秀俊



パソコンを活用した編集委員会

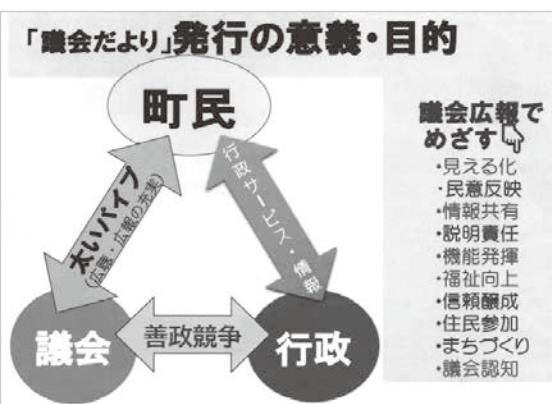
8月4日に石川県地場産業振興センターにおいて、議会広報研修会が開催され、当議会より議会広報編集特別委員5名が参加しました。編集委員会ではこれまで、このような研修会で学び、町民の皆さんに心を持って、読んで頂けるように、分かり易い議会だよりの紙面づくりに努力してきました。

しかし、まだまだ議会や議員は何をしているのかわからないと言われており、さらなる開かれた議会をめざして、情報発信に努めていかなければいけません。そのためには、町民の意見を聴き、紙面に町民登場を図る、提出議案の決定に至るプロセスの深堀り掲載などが必要になると思います。

研修会で学んだことは、聞いて来ただけに終わらせないで、行動に移していきたいと思います。

議会広報編集委員長 宮崎 稔

開かれた議会をめざして



研修会で学んで、実践行動へ



スマート農業を視察

7月31日、総務産業常任委員会では、富山県農林業水産公社スマート農業普及センターにて視察研修会を実施しました。

当該普及センターは、近年の農業者の高齢化による労働力不足等から、更なる農業の省力化を求める先進的なスマート農業について、担い手農家及び宮農組織施設を対象に、技術の普及と習得のため研修を実施している施設です。

その中で、人が乗らずに作業が可能なロボットトラクターや直進田植機の概要や、収穫と同時に収量や食味を計測するコンバインの概要、そしてインターネットを活用しての超省力化・高品質生産や農薬等を効率的に散布する農業用ドローンの操作について紹介され、各委員からも様々な視点から質疑がありました。



様々なスマート農業機械

総務産業常任委員長 塚田 博

石川県民スポーツ大会

川北町選手を応援！

8月5日、かほく市を主会場として石川県民スポーツ大会（夏季大会）が開催されました。

河北台中学校での開会式終了後、教育民生常任委員会では、各種目で活躍している川北町選手への激励と応援を行いました。

酷暑の中、各種目会場では熱戦が展開され、委員の応援にも力が入りました。

選手・チームの皆さん、そして、サポートいただいた関係者、また、お世話いただいた大会関係者の皆さん、暑い中、大変、お疲れさまでした。

研修を終え、当町の農業経営者にも、先進的なスマート農業技術を学んでいただく公的な研修施設が県内の身近な場所にあればと痛感しました。



教育民生常任委員長 山田勝裕



開会式



野球競技

